



サニックスグループの 価値創造

マテリアリティ
価値創造プロセス

03

マテリアリティ

■サニックスグループのマテリアリティごとのリスクと機会

マテリアリティ	関連ページ	当社グループにとってのリスク	当社グループにとっての機会
地球環境	気候変動への対応 → p47	気候変動による自然災害リスクの増大 温暖化対策に伴う規制強化	脱炭素に資するニーズの拡大、技術開発の加速
	資源・エネルギーの効率的利用 → p46 p47	化石資源・天然資源の枯渇	省エネ・省資源・資源循環に資する ニーズの拡大、技術開発の加速
	安全な水と衛生的な環境 → p46	安全な水と衛生的な環境の不足による健康リスクの増大	衛生的な環境・空間・水に関する ニーズの拡大
社会システム	安心・安全・快適な暮らし → p34 p46	激甚化する自然災害等による生活の不安定化	レジリエンス向上に関する ビジネス拡大
	製品・サービスの信頼性向上 → p10	品質・安全・環境性能の低下等による社会的信用の失墜	顧客満足度の向上、ビジネス拡大 取引先との信頼関係構築
	地域社会・コミュニティへの貢献 → p16 p50	信頼性の低下による事業活動への影響	コミュニティとの信頼関係構築、地域 社会との共生による事業基盤の安定化
企業と組織	人材育成と雇用の確保 → p48	労働力不足、人材流出	優秀な人材の確保 円滑な事業活動の継続
	労働安全衛生の推進 → p49	物的・人的被害による事業への影響 社会的信用の失墜、長時間労働	従業員の健康と安全確保、生産性の 向上、モチベーションの向上
	ダイバーシティの推進と人権尊重 → p48	多様化するニーズ・価値観に対応 できず競争力低下	優秀な人材の確保 多様な価値観による価値創造力向上

フォーカス事業領域の選定

住環境領域

戸建住宅、集合住宅、その他建築物に対する適切なメンテナンスを実施することで、安心・安全・快適な暮らしを提供。また、建物の長寿命化により資源の効率的利用に貢献。



エネルギー領域

太陽光発電システムの施工販売により再生可能エネルギーの普及拡大を図り、気候変動への対応、資源・エネルギーの効率的利用に貢献。



資源循環領域

産業廃棄物の適正処理、再資源化およびサーマルリサイクルによるエネルギー生成、ならびに廃液処理による水資源の浄化により、資源の効率的利用、清浄な水資源の確保、安心・安全な暮らしに貢献。



価値創造プロセス

お客様への価値提供を通じて
社会課題の解決を図り、
次世代へ快適な環境を
承継し得る持続可能な社会を
実現する

社会が抱える課題

- 気候変動
- 資源・エネルギーの効率的利用
- 安全な水と衛生的な環境
- 激甚化する自然災害

世界の潮流

- 分散・自律型社会へのシフト
- データとAIが主導する価値創造
- パラダイムシフト
(モノからコト、所有からシェア、
自前主義から共創)

インプット

①財務資本 (2026年3月末現在)

- ・純資産：11,006百万円
- ・総資産：40,024百万円
- ▶ 財務データ⇒60ページ～参照

②社会関係資本 (2026年3月末現在)

- ・戸建住宅向けサービス事業：
4地区本部、61拠点
- ・法人・事業主向けサービス事業：10拠点
- ・法人向け太陽光発電事業：27拠点
- ・環境資源開発事業：19拠点
- ・新電力事業：1拠点

③知的資本

顧客接点の多さから得ることのできる
貴重な情報(お客様の声)を活用し、顧客
第一主義の観点から創出された独自の製
品・サービス群⇒10ページ参照

④人的資本 (2026年3月末現在)

連結従業員数：2,033名

【豊富な有資格者】

白蟻防除施工士、一級建築士、宅地建物
取引士、建築施工管理技士、電気工事
士、電気工事施工管理技士、エネルギー
管理士、消費生活アドバイザー 他

⑤自然資本 (2026年3月期)

- ・エネルギー使用量
非化石 3,841千GJ
化石 253千GJ

⑥製造資本 (2026年3月末現在)

- ・物流センター

「お客様」と「社会」と「企業」の共通価値

多様なパートナーシップ・事業領域の進化

住環境

エネル

地域に
根差した
拠点網

顧客・社会の
ニーズに応える
提案力・
課題解決力

多様な
ノウハウ・
専門知識

競争力の源泉

サニックスグループは、抽出した社会課題について、創業以来積み重ねてきた多様なノウハウと専門知識、地域に根差した拠点網を基礎とし、世の中の流れやお客様との接点の中から生み出した独自の製品・サービス群を社会実装していくことで、課題解決を図ります。また、当社グループとは異なる強み、知見、ノウハウをもつ多様なパートナーとの協働を積極的に進めることで、「お客様」と「社会」と「企業」の共通価値を創造する当社独自のビジネスモデルを、さらに進化・深化させてまいります。

値を創造する独自のビジネスモデル

と深化

ギー

資源循環

持続的成長の
ための戦略

26ページ～

持続的成長を
支える
経営基盤

51ページ～



提供する価値 (VALUE)

「快適な住環境を次世代につなぐ」
のが当たり前の社会



「環境負荷の低いエネルギー」が
当たり前の社会



「捨てない」のが当たり前の社会



「次世代へ快適な環境を」